

<対策のポイント>

新技術を活用した事業を創出し、国内外に展開していくため、フードテック官民協議会の運営等により、フードテック等の新技術について協調領域の課題解決や新市場開拓を促進します。併せて、フードテックを活用したビジネスモデルを実証・実装する取組を支援します。

<事業目標>

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出等

<事業の内容>

1. フードテック官民協議会の運営 22百万円（前年度 22百万円）

① 関連事業者の連携・協業や投資の促進、地方自治体との連携

地方自治体とも連携し、地方の企業や大学等の技術を対象とした、投資や協業促進のためのピッチイベントや交流会等を全国各地で開催し、全国に配信します。

② ワーキングチームの活動促進

分野毎に課題を共有し対応方針について専門的に議論を行うワーキングチームを通じ、当該分野の課題解決と発展、普及啓発、会員相互の連携の促進を図ります。

③ ビジネスアイデアの発掘

ビジネスコンテスト開催等により、フードテックの認知度向上や地方企業を含めたビジネスアイデア・技術シーズを発掘します。

2. フードテックビジネス実証・実装事業 25百万円（前年度 25百万円）
〔令和7年度補正予算額〕181百万円

① ビジネスモデル実証・実装事業の支援

国内の食品事業者等によるフードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証・実装する取組を支援します。

② 横展開に向けた情報発信等

①の取組により実証・実装された内容の横展開及び消費者理解の促進を図るため、実証・実装成果を取りまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による情報発信等の取組を支援します。

<事業の流れ>

国

委託（定額）

民間団体等（1の事業）

定額

民間団体等 1/2

民間団体等（2の事業）

〔お問い合わせ先〕（1の事業）新事業・食品産業部新事業・国際グループ企画班（03-6744-2352）
（2の事業）新事業・食品産業部新事業・国際グループ推進班（03-6744-7181）

<事業イメージ>


○ 地方自治体と連携したプラットフォームや共創の場の整備

○ 専門的に議論を行う作業部会等による課題の整理や解決策の議論


○ ビジネスコンテストや勉強会、官民協議会総会等を通じた国内企業の取組発掘、国内外の企業や投資家とのマッチング促進

【食に関する幅広い事業者、団体等が参画】


食品企業	機械メーカー
IT関連企業等	外食・中食産業
フードテック企業	大学・研究機関
VC/投資家/金融	行政
不動産/観光/メディア	シェフ




こんにくとおからから作られたカツ




炒め調理ロボット




アレルギー低減卵を生産するニワトリの育種



アップサイクル食品



密閉型構造の植物工場



塩味を増強するスプーン

事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保